



広重版画より 三島 朝霧

第2412回例会

2025.2.27晴

司 会

栗原達治君

ロータリーソング

「それでこそロータリー」
指揮 森崎祐治君

会長挨拶

会長 鈴木正二君

今朝の静岡新聞のスポーツ欄と最終面しずスポ欄に我が母校明治大学野球部のことが大きく取り上げられていました。2004年から毎年1週間愛鷹球場で春期キャンプをはり、コロナ下の中止を経て16回目になります。宿舎は廃業までウエルサンピアで、その後は時の栖になっています。今年は2月19日から昨日26日までで、20日に歓迎激励会を沼津市も協賛してくれて行い頼重市長も挨拶をしてくださいました。沼津朝日新聞がその様子を大きく取り上げてくれています。今年の主将の木本圭一君は、小学生の沢田少年野球団に所属していた時期に頼重市長が保護者の一員として面識があり、金岡中をへて桐蔭学園へ進みました。頼重市長によると小学生のころから他と全然違ったそうです。中学時代は硬式野球チーム「静岡裾野トルシニア」に所属、3年で主将時日本選手権で優勝したそうです。記事には、富士市出身の岸本一心外野手(新3年)、静岡出身で甲子園出場、ドラ1を目指す高須大雅投手(新4年)、木本選手と中・高とチームメートだった松下歩叶内野手が法政大学の新主将になったと紹介されています。又よく知られていることですが、慶応大学野球部監督の堀井哲也さんと立教大学野球部監督の木村泰雄さんは韭高野球部の同級生で、当時の監督は若かりし豊岡三島市長です。今年の東京六大学野球は静岡県出身者の活躍が期待されます。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	42/49	85.71%	43/49	87.76%
今回	37/48	77.08%	会員総数	52名

欠席者 赤池君、秋山君、芦川君、須田君、諏訪部君、南木君、橋本君、藤江君、町野君、森藤君、渡邊(真)君

委員会報告

クラブ広報委員会

ロータリーの友3月号、32ページに「音楽で環境教育に貢献」と言う題で三島西ロータリーのザ・ウエストサイズが掲載されました。チャリティーコンサートで18万円もの金額を水資源と環境保全の事業向けに寄贈したという内容の記事です。

おめでとう

会員誕生日 前田(房)君、西本君

幹事報告

幹事 加藤憲勝君

1. 本日の例会、卓話は田代陽介君です。よろしくお願いします。
2. RI第3820地区(フィリピン)地区大会ツアーのご案内を各テーブルに配布してあります。興味のある方は幹事までお願いします。
3. 次回例会は3月6(木) 12:30から通常例会です。卓話は上野 悟君です。よろしくお願いします。



スマイルボックス

- ◆室伏君、経済産業省のキャリア教育アワード中小企業の部で優秀賞を頂きました。県内初めてでホテルブライダル業界では全国初でした。
- ◆田代君、前々回の例会を休ませて頂き、仕事のプレゼンに行かせてもらい、無事、受注する事が出来ました。山本さん、卓話を交代して頂きありがとうございました。また、本日の卓話よろしくお願ひします。
- ◆仲田君、ウエストサイズのチャリティーコンサートがロータリーの友に載りました。ありがとうございました。
- ◆柴崎君、2月17日付静岡新聞東部ローカルニュース紙面、松韻伊丹秀之会長談話と梅の花の写真、室伏太郎プラザホテル社長の子供ブライダルの記事、17日紙面は三島西ロータリークラブデーと思いました。ロータリーの友でも活躍が掲載されました。すごいです。
- ◆伊丹君、祝 私の手作り100%カレンダーが産業経済新聞社、日本印刷産業連合会の第76回全国カレンダー展に於いて優れたものと認められ入選させていただきました。
- ◆杉崎君、ビルメンテナンス協会の理事会のため早退します。スマイルします。
- ◆渡邊(聡)君、本日早退させていただきます。皆さんに元気をいただき笑顔になりました。スマイルします！

卓 話

自己紹介

田代陽介君
 昨年の6月に入会し最初の卓話となりますので、今日は私のことを少し知って頂くため自己紹介をテーマに話します。

<生い立ち>

昭和47年7月9日に御殿場市で長男として生まれました。私の実家は御殿場市でも小山町との境にある高根地区という、前県知事の発言で有名になりました御殿場コシヒカリの中でも特に美味しいお米が収穫できる田んぼに囲まれた集落で育ちました。ただ、曾祖父は大工でハワイに出稼ぎに行き、祖父はハワイで育ち帰国後お通訳の仕事などをして、父もサラリーマンでお米を作ったことが無く、昔から近所の方に任せっきりで美味しいお米の作り方は残念ながら分かりません。

非常に田舎な地域のため、第二次ベビーブーム世代で最も多い学年でしたが、1学年90人程度の小さな学校で、顔見知りの幼馴染と中学校まで9年間一緒に生活をしていました。小学校4年生でサッカー少年団に入り、毎日サッカーをしていました。小さな学校ではあったのですが、男子児童の大半が入団していて6年生の時には御殿場市、裾野市、小山町の北駿地区では初の県大会へ出場しました。その後、中学校でも同じメンバーでサッカー部に入り続けましたが、当時の学園ドラマを象徴するような先輩たちに流され、最後の中体連期間際まで、まともな練習もしないと思うような結果を残せず後悔したことを未だに覚えています。

高校も御殿場市内の学校に進学し、御殿場市内で高校生活を送っていました。入学当初は非常に規律の厳しいサッカー部へは入らず、帰宅部で中学校の友達や他校の友達との放課後生活を日々楽しんでいました。しかし、毎日同じような生活に嫌気がさし、仲の良いウラスメイたちが入っていたバスケットボール部に安易に入部しました。夏合

宿からの入部で直ぐにバスケットボールの厳しさを痛感しました。その頃、規律が厳しすぎ新入生の大量の退部者に苦慮していたサッカー部からの甘い勧誘があり、結局バスケットボール部から転部し、その後3年のインターハイまでサッカー部での部活動に明け暮れていました。転部を繰り返したことは良いことではありませんが、結果的に多くの友達と知り合うことが出来たのは高校時代の財産だと思っています。

大学は日本大学工学部建築学科へ進学し、やっど御殿場から出たのですが多くの大学のある首都圏を通り過ぎ、東北の入口の福島県郡山市まで行き生活することになりました。入学前の年明けに部屋探しに行った際に、御殿場育ちの私でもこの地で4年間過ごせるか不安になるほどの寒さだったことを今でも覚えています。日本大学という事もあり、福島県内の田舎の大学ではありませんが、北海道、青森、新潟、東京、名古屋、兵庫、大分、熊本など全国各地から来た友達と知り合うことが出来ました。建築学科は他の学科に比べ課題が多く、思っていた以上に遊べなかったことを覚えています。これまで続けてきたサッカーはサークル活動を通して福島県南リーグに参戦して、卒業まで4年間多くの同級生や後輩の仲間たちと楽しみました。学生時代は本当に多くの友達と出会えたことが一番の財産だと思っています。

<キャリア>

大学卒業後はある大手住宅メーカーが新規事業として力を入れている再開事業部への就職を希望して、推薦枠のある教授の研究室へ入りましたが、バブル崩壊のあおりを受けて私が就職する年から推薦枠がなくなり、希望する事業部への入社は叶わず、他の住宅メーカーの神奈川東支店に入社することになりました。希望する就職が出来なかったため、自分の中でいち早く資格を取得し転職することを誓い、一級建築士の取得を目指しました。運にも恵まれ、早くして資格を取得しましたが、ハウスメーカーの浅い経験しかない一級建築士を受け入れる企業は見つかりませんでした。

その後、大学の就職課に相談に行き、静岡県内で新卒の学生が内定を貰った設計事務所が紹介されました。その事務所が三島市の池田建築設計事務所でした。当時、遠藤社長の面接を受け、公共建築の設計実績のない私を営業職兼務として、受け入れて頂きました。そして、私は年老いた両親のいる田んぼに囲まれた自然豊かな御殿場の地に長男として戻ってきました。

転職後は社長や会長の指示のもと営業活動と空いている時間で設計もさせてもらい、そのうちに設計をする時間や機会が増え、老人施設、児童施設、教育施設、生産施設など様々な設計に携わることが出来ました。特に印象に残っているのは、私の通った高根中学校の校舎建替え事業です。私の設計した校舎に我が子3人は通いました。このような身近な建物の設計が出来たのも、遠藤会長に採用して頂き、池田建築設計事務所へ入社できたことを本当に感謝しています。

<大切にしている価値観>

これまで設計する中で、各業種のプロフェッショナルの方々のお話を聞き、自分の知らない専門的な知識をはじめ、自分との価値観の違いや新たな気づきなど様々なことを感じ学びました。その経験が、次のお客さんとの設計打合せに生かされます。設計者はどれだけ引出しを持っているか、提案力は引出しの数で決まります。今後も時代に沿った多くの引出しを増やすため、より多くの方々と深く話をしていきたいと思っています。さらに、多様性が求められる時代は、偏った視野ではなく俯瞰的な視野で、さらに既成概念や先入観にとられない考え方を大切にしていきたいと思っています。

これまで、多くの人に出会い、色々なことを学びました。これからロータリーの様々な活動の中で、先輩会員の皆さんの意見や考えなどを伺い、自分自身の考えの引出しを増やして成長していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(週報担当:小塚)